
日通、倉敷市に水島CFS開設、中国地方の集荷体制を強化

Edited By LogisticsToday On 2010/10/21

日本通運は21日、阪神港積み定期海上混載サービスの荷受地の一つとして、岡山県倉敷市の水島港に「水島CFS」を開設したと発表した。また、福山集荷ポイント（広島県福山市）、岡山集荷ポイント（岡山県岡山市）を設定した。

同社は中国地方で、広島港積み香港向け、香港経由アジア・欧州向けの海上混載サービス「もみじエクスプレス」を展開しているが、主に広島県東部、岡山県など中国地方東部から世界各地へ、ダイレクトで海上混載を希望する顧客には、都度顧客手配で阪神港まで輸送を行っていた。

水島CFS、福山・岡山集荷ポイントを開設したことにより、荷受けした貨物は、同社手配の定期便トラック（月曜・水曜の週2便運行）によるミルクラン方式で集荷され、阪神港まで転送後、同社の複合一貫輸送サービス「アローインターナショナル」によって世界各地へ輸送される。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>
URL to article : <http://www.logi-today.com/5664>
Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.